平成 31 年度関東木材資源リサイクル協会　全体会議

日時：　令和元年 12 月 12 日(木)　14：30～16：45
場所：　ＩＫＥ・Ｂｉｚとしま産業振興プラザ６Ｆ 多目的ホール

第１部　全体会議次第　　14：30～15：15

1. 会長挨拶
2. 協会活動報告
   (1)　平成 31 年度事業活動中間報告
      ・理事会、専門委員会・部会、地区委員会等の取組み…… 4
      ・適合チップ認定制度の中間報告 ……13
      ・災害対策の取組 ……19
      ・物流業者の乗務記録の運用 ……22
      ・先進事例視察報告 ……24
   (2)　平成 31 年度予算執行状況中間報告 ……25
   (3)　平成 31 年度入出荷実績中間報告 ……26
3. ＮＰＯ法人全国木材資源リサイクル協会連合会より報告
   (1)　平成 31 年度木質バイオマス需要調査結果（速報）…別紙資料
   (2)　平成 31 年度木質チップ生産会員実態調査結果　　…別紙資料
   (3)　寄付金のお願い ……28
4. その他

(15 分間の休憩)

第２部　時局講演会　　15：30～16：45
　演題　「物流を取り巻く環境変化」
　　～労働力（輸送力）不足への対応～
　　講師　株式会社日通総合研究所 取締役 大島弘明 氏

　　閉会 16：45

懇親会
　開催時間；17:00～19:00　場所；情熱ダイニング『IROHA』

平成 31 年度 関東協会組織図

（令和元年 12 月 12 日現在）

＊敬称略・社名順不同

理　事　会

会長会社
- ㈱グーン

副会長会社
- 東京ボード工業㈱
- ㈱光洲産業
- ㈱ログ

専務理事
- 事務局

会計会社
- 門倉工業㈱

理事会社
- 住友林業フォレストサービス㈱
- 日本製紙木材㈱
- 木材開発㈱
- フルハシ EPO㈱
- 王子木材緑化㈱
- 青南建設㈱
- 石坂産業㈱
- ㈱チップ興業
- ㈱リテック
- ㈱清水インダストリー
- レンゴーペーパービジネス㈱
- ㈱永留商事

倫理・法制度整備委員会
会長・副会長・監事・専務

業務執行役員会
会長・副会長・専務

監　事
- ㈱タケエイ

安定供給推進委員会
委員長
- 木材開発㈱

委員
- ㈱グーン
- 東京ボード工業㈱
- ㈱祥和コーポレーション
- 青南建設㈱

地区委員会

南関東地区委員会
委員長
- ㈱光洲産業

副委員長
- ㈱リテック
- 木材開発㈱

委員
- 門倉工業㈱
- フルハシ EPO㈱
- ㈱グーン（事務局）
- ㈱タケエイ
- 横浜エコロジー㈱
- ㈱アイダスト
- ㈱駿河サービス工業
- ㈲峡南環境サービス
- ㈱エコネット
- ㈱エバーグリーンライン
- ㈱神奈川ウッドエネルギーセンター
- J&T 環境㈱
- ㈱グリーンハーモニー
- ㈱竹内建設
- 鈴健興業㈱
- エコテクノ㈱
- ㈱タケエイグリーンリサイクル
- ㈱都実業
- ㈲大誠農林リサイクルセンター
- 環境衛生管理㈱

中関東地区委員会
委員長
- 東京ボード工業㈱（事務局）

副委員長
- ㈱チップ興業
- 石坂産業㈱

委員
- 市川燃料チップ㈱
- ㈱共同土木
- ㈱クワバラ・パンぷキン
- ㈱タケエイ
- ㈱エコグリーン
- ㈱丸昭建材
- ㈱オーク環境
- ㈱市川環境エンジニアリング
- フルハシ EPO㈱
- 東武環境センター㈱
- 王子木材緑化㈱
- シナネンエコワーク㈱
- 木材開発㈱
- 木村建材工業㈱
- ㈱石井興業
- 青南建設㈱
- ㈱後藤造園
- ㈱紳商

北関東地区委員会
委員長
- ㈱ログ

副委員長
- ㈱清水インダストリー

委員
- 亀井産業㈱
- 木材開発㈱
- 泉工業㈱
- 光陽産業開発㈱
- ㈲イーペック牛久
- ㈱オダワラ
- ㈲坂東資源
- ㈱ユキ工業
- 青柳造園㈱
- バイオマス・フューエル㈱
- ㈱祥和コーポレーション
- ㈱ヤマゲン
- ㈱リ・フォレスト（事務局）
- ㈱沼田機業
- 勝田環境㈱
- ㈱八木造園
- ㈲エンジニアリングウッド
- 小田原緑化開発㈱
- 遠野興産とちぎ㈱
- ㈱グリーンマテリアル
- ㈲神辺土建
- ㈲エコプラント横坂

専門部会（委員会）

企画財政委員会
委員長
- ㈱グーン

副委員長
- 木材開発㈱

委員
- フルハシ EPO㈱
- 日本製紙木材㈱
- 石坂産業㈱
- ㈱エコグリーン
- ㈱祥和コーポレーション
- 亀井産業㈱
- 住友林業フォレストサービス㈱
- ㈱タケエイ

需要者部会
部会長
- 日本製紙木材㈱

副部会長
- 王子木材緑化㈱
- レンゴーペーパービジネス㈱

部会員
- 住友林業フォレストサービス㈱
- 泉工業㈱
- 東京ボード工業㈱
- バイオマス・フューエル㈱
- J&T 環境㈱
- ウッドチップサービス㈱
- 市原グリーン電力㈱
- ㈱バイオパワー勝田
- 新エネルギー供給㈱

＜連合会賛助会員・他の地域協会員等＞
- 住友大阪セメント㈱
- ㈱吾妻バイオパワー
- 川崎バイオマス発電㈱
- 日本繊維板工業会
- ㈱北越マテリアル
- 大王製紙㈱
- 特種東海製紙㈱
- ㈱ノダ

物流部会
部会長
- ㈱永留商事

部会員
- ㈱清水インダストリー
- ㈱石﨑興業
- ㈱角昇運輸
- ㈱金運
- ㈲藤崎総業
- みのる産業㈱
- ティー・ビー・ロジスティックス㈱
- ㈲マルタカ商事
- ㈲ケイ運送
- ㈲本郷商事
- ㈱近江

関東木材資源リサイクル協会会員名簿　　令和元年12月12日現在

	会 社 名	郵便番号	住 所	備考
1	市川燃料チップ㈱	132-0035	東京都江戸川区平井3-23-17	名誉会長
2	住友林業フォレストサービス㈱	160-0023	東京都新宿区西新宿１－２３－７ 新宿ファーストウェストビル5階	理事 企画財政委員
3	フルハシEPO㈱	221-0844	神奈川県横浜市神奈川区沢渡1-2 新高島台ビル7階C	理事 企画財政委員
4	東武環境センター㈱	340-0833	埼玉県八潮市西袋621-5	
5	㈱タケエイ	105-0011	東京都港区芝公園2-4-1芝パークビルA-10F	理事(監事) 企画財政委員
6	王子木材緑化㈱	104-0061	東京都中央区銀座4-7-5王子製紙㈱本館11F	理事 需要者副部会長
7	シナネンエコワーク㈱	108-6306	東京都港区三田3丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館6階	
8	門倉工業㈱	235-0036	神奈川県横浜市磯子区中原2丁目1番1号	理事(会計)
9	木材開発㈱	103-0027	東京都中央区日本橋3-7-10 タンペイビル3F	理事・安定供給推進委員長 企画財政副委員長・南関東副委員長
10	㈱チップ興業	132-0035	東京都江戸川区平井3-23-17	理事 中関東副委員長
11	青南建設㈱	193-0803	東京都八王子市樽原1271-17	理事 安定供給推進委員
12	日本製紙木材㈱	101-8213	東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地 御茶ノ水ソラシティ	理事 需要者部会長・企画財政委員
13	㈱エコネット	193-0802	東京都八王子市犬目町776番地	
14	㈱グーン	236-0002	神奈川県横浜市金沢区鳥浜町17-3	会長・理事・業務執行役員会 企画財政委員長・安定供給推進委員
15	㈱光洲産業	213-0032	神奈川県川崎市高津区久地548番	理事・副会長・業務執行役員会 南関東委員長
16	㈱共同土木	362-0016	埼玉県上尾市原新町6-45	
17	亀井産業㈱	360-0843	埼玉県熊谷市三ヶ尻4236	企画財政委員
18	㈱クワバラ・パンぷキン	338-0004	埼玉県さいたま市中央区本町西４丁目9-4	
19	㈱エコグリーン	104-0032	東京都中央区八丁堀四丁目10番4号 ヒューリック八丁堀第二ビル8階	企画財政委員
20	㈱丸昭建材	277-0861	千葉県柏市高田1116番地32	
21	㈱タケエイグリーンリサイクル	403-0005	山梨県富士吉田市上吉田4838	
22	㈱オーク環境	359-0014	埼玉県所沢市亀ヶ谷１２７－１	
23	泉工業㈱	327-0514	栃木県佐野市仙波町1630番地	
24	㈱リテック	224-0053	横浜市都筑区池辺町１５８８	理事 南関東副委員長
25	横浜エコロジー㈱	236-0003	横浜市金沢区幸浦１－４－２	
26	東京ボード工業㈱	136-0082	東京都江東区新木場２－１１－１	理事・副会長・業務執行役員 中関東委員長・安定供給推進委員
27	㈱ログ	373-0847	群馬県太田市西新町１３－３	理事・副会長・業務執行役員 北関東委員長
28	㈱アイダスト	236-0003	横浜市金沢区幸浦２－１３－３４	
29	㈱清水インダストリー	370-3511	群馬県高崎市金古町１８０４－５	理事 北関東副委員長
30	光陽産業開発㈱	321-0905	栃木県宇都宮市平出工業団地４４－１５	
31	㈲イーペック牛久	300-1285	茨城県牛久市正直町１３７５	
32	㈱駿河サービス工業	412-0046	静岡県御殿場市保土沢231-1	
33	(有)峡南環境サービス	400-0414	山梨県南アルプス市戸田916-18	
34	バイオマス・フューエル㈱	374-0039	群馬県館林市美園町25－29	
35	㈱オダワラ	379-2101	群馬県前橋市泉沢町1250-6	
36	(有)坂東資源	372-0827	群馬県伊勢崎市八斗島町822-177	
37	青柳造園㈱	329-0501	栃木県下野市上古山708-32	
38	J&T環境㈱	230-0044	神奈川県横浜市鶴見区弁天町3番地2号館１階	
39	石坂産業㈱	354-0045	埼玉県入間郡三芳町上富緑1589-2	理事・中関東副委員長 企画財政委員
40	㈱ユキ工業	370-0503	群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩3153-1	
41	㈱神奈川ウッドエネルギーセンター	236-0003	神奈川県横浜市金沢区幸浦1－15－43	
42	㈱エバーグリーンライン	210-0014	川崎市川崎区貝塚1丁目1番5号	

43	㈱グリーンハーモニー	204-0011	東京都清瀬市下清戸3-7-2	
44	㈱祥和コーポレーション	327-0813	栃木県佐野市黒袴町1111-1	安定供給推進委員 企画財政委員
45	㈱ヤマゲン	136-0082	東京都江東区新木場1丁目17番4号	
46	㈱リ・フォレスト	378-0077	群馬県沼田市石墨町2110-1	
47	㈱沼田機業	311-3411	茨城県小美玉市野田183	
48	木村建材工業㈱	203-0032	東京都東久留米市前沢1-8-12	
49	㈱竹内建設	254-0021	神奈川県平塚市長瀞1-3	
50	勝田環境㈱	312-0032	茨城県ひたちなか市津田2554-2	
51	㈱八木造園	370-0011	群馬県高崎市京目町1197	
52	鈴健興業㈱	406-0812	山梨県笛吹市御坂町下黒駒1602-8	
53	㈲エンジニアリングウッド	384-2103	長野県佐久市御馬寄1132	
54	小田原緑化開発㈱	378-0062	群馬県沼田市町田町694番地1	
55	遠野興産とちぎ㈱	325-0036	栃木県那須塩原市鳥野目330-1	
56	レンゴーペーパービジネス㈱	340-0833	埼玉県八潮市西袋330番地	理事 需要者副部会長
57	エコテクノ㈱	101-8950	東京都千代田区外神田3丁目12番8号	
58	㈱都実業	247-0074	神奈川県鎌倉市城廻640-3	
59	㈱石井興業	289-1603	千葉県山武郡芝山町大里974	
60	㈱グリーンマテリアル	370-0615	群馬県邑楽郡邑楽町篠塚38番1	
61	㈲大誠農林リサイクルセンター	402-0014	山梨県都留市朝日馬場2013番地1	
62	㈲神辺土建	350-0445	埼玉県入間郡毛呂山町大字葛貫字新田前1105-1	
63	㈲エコプラント横坂	378-0103	群馬県利根郡川場村大字中野383-3	
64	㈱後藤造園	123-0842	東京都足立区栗原二丁目14番7号	
65	㈱紳商	278-0022	千葉県野田市山崎1508番地	
66	㈱永留商事	252-0135	神奈川県相模原市緑区大島4690－1	理事 物流部会長
67	環境衛生管理㈱	239-0842	神奈川県横須賀市長沢5丁目3241番地	

賛 助 会 員

	会 社 名	郵便番号	住 所	備考
1	市原グリーン電力㈱	290-0067	千葉県市原市八幡海岸通1番地	
2	㈱市川環境エンジニアリング	272-0014	千葉県市川市田尻2-11-25	
3	ウッドチップサービス㈱	252-0216	神奈川県相模原市中央区清新８－１６－１	
4	新エネルギー供給㈱	114-0002	東京都北区王子１－６－１１	
5	㈱バイオパワー勝田	312-0002	茨城県ひたちなか市高野1974-1	

物 流 会 員

	会 社 名	郵便番号	住 所	備考
1	㈱石崎興業	358-0021	埼玉県入間市高倉2－9－39	
2	㈱角昇運輸	312-0063	茨城県ひたちなか市田彦49－11	
3	㈱金運	270-1327	千葉県印西市大森779番地2	
4	㈲藤崎総業	252-1127	神奈川県綾瀬市早川城山2-9-3	
5	みのる産業㈱	252-0135	神奈川県相模原市緑区橋本台1-3-8-2	
6	ティー・ビー・ロジスティックス㈱	340-0835	埼玉県八潮市浮塚331番地1	
7	㈲マルタカ商事	305-0861	茨城県つくば市谷田部4531-2	
8	㈲ケイ運送	379-1307	群馬県利根郡みなかみ町政所1059	
9	㈲本郷商事	974-8211	福島県いわき市金山町汐見台38	
10	㈱近江	307-0001	茨城県結城市結城9817-41	

平成31年度　関東木材資源リサイクル協会　活動実績表

令和元年12月12日

会の名称		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総　会			○ 6/6							臨時 12/12				
全体会議										○ 12/12				
理事会		○ 4/26						○ 10/15						
地区委員会	南関東地区委員会	○ 4/22	○ 5/20	○ 6/17	○ 7/22	○ 8/28	○ 9/30	○ 10/28						
	中関東地区委員会	○ 4/23	○ 5/28	○ 6/25	○ 7/30		○ 9/27	○ 10/23	○ 11/27					
	北関東地区委員会		○ 5/23		○ 7/25		○ 9/19		○ 11/28					
専門部会・委員会	企画財政委員会	○ 4/11			○ 7/11				○ 11/26					
	需要者部会				○ 7/31									
	物流部会			○ 6/21		○ 8/21			○ 11/20					
バイオマス証明審査委員会					○7/18メール		○ 9/4 ○9/25メール	○ 10/15						
バイオマス証明現地調査					○ 7/10		○ 9/20	○ 10/4	○ 11/11 ○ 11/25					

備　考		
	総会場所：IKE・Bizとしま産業振興プラザ6F　多目的ホール	その他
	理事会：計2回開催	＊　CSR活動＜みどりとふれあうフェスティバル＞(5/11～5/12)
	地区委員会　南関東：7回開催　中関東：7回開催　北関東：4回開催	＊　CSR活動＜本棚作成講座＞(7/20・7/29)　＊　第16回中央区「エコまつり」(6/2)
	企画財政委員会：3回開催	＊　エコプロ2019(12/5～12/7)
	需要者部会：1回開催　　物流部会：3回開催	＊　先進事例視察<㈱横須賀バイオマスエナジー>11/5

令和元年 12 月 12 日
関東木材資源リサイクル協会全体会議

平成 31 年度　事業活動中間報告

＜平成 31 年度重点事業＞
① 適合チップ認定制度の運用
② 木質チップ需給動向の把握
③ 母材拡大策の検討
④ 労働安全衛生について
⑤ 物流改革について

1. 総　会

通常　6 月 6 日(木)　IKE・Biz としま産業振興プラザ 6F　多目的ホールにて開催
臨時　12 月 12 日(木)　会場は同上

2. 理事会

4 月 26 日(金)　中央区立環境情報センター　研修室 2
10 月 15 日(火)　中央区立環境情報センター　研修室 2

<主な議題>

・木質チップの入出荷状況について
・新入会員の承認について
・適合チップ認定制度について
・会則の変更
・役員・役職の変更
・台風 15 号による倒木等の受け入れ可能調査及び被災状況調査結果について
・先進事例視察について

3. 企画財政委員会

計 3 回開催(4/11・7/11・11/26)

<主な議題>

第 1 回（4/11 中央区立環境情報センター）

・平成 31 年度 4 月理事会について(主に、平成 31 年度事業計画について)
・役員の改選に関して、今年度から理事に物流部会長を加えることを理事会に諮ると報告があった。
・適合チップ認定制度について
・「点数開示について」「審査会と認定取り消しについて」「評価方法について」「現地調査について」にテーマを絞り、話し合った。
・適合チップ認定制度の運用だけでは、異物混入防止がなかなか進まない現状があることを委員相互で認識共有した。

・適合チップ認定制度はメーカー側が自主的に行っているものであり、実際に運用が開始されても異物混入防止が進まないという事態になっている。「達成度チェック表」による点数制度も、アンケートに対する回答を独自に点数化したものだ。ゆくゆくはお互い情報交流しながら審査会を持てるようにしたい。
・設備の過不足はアンケートによって把握できるが、非公表としているので開示はできないし、現段階では、現場の確認ができていない。チップメーカーと需要家の情報を積み上げて、危ういと思われるところには足を運ぶ(現地調査)というのはどうだろうか。これが実現すれば成果が表れるはずだ。
・認定事業者は非鉄であっても異物混入してはならない。そのための認定制度なのだから、担保できない事業者の取り消しや認定の見直しも仕方のないことだ。RPF は JIS 規格があり、規格品を製造する場合、メーカーでは材料から厳選する取り組みをしている。ユーザーに安心して使ってもらうためには、認定制度のハードルをもう一段階上げねばならないのではないか。
・会議に出ている我々などは適合チップに対する情報や意識はあるが、チッププラントで手選をする現場の従業員がどこまで品質に拘っているかが重要だ。当社でも数年前までは、製紙会社用、ボード会社用、燃料用のチップを作る中で燃料用は余り物という認識だったが、今では徹底して品質の向上に取り組んでいる。認定制度によってチップの品質を高めることが重要だが、業界自体の知識の底上げと意識向上をしないといけない。
・審査会は必要であり、極めて重要なのが評価基準の設定ではないか。審査会の甘辛によって認定基準が変わることのないようにしなければならない。審査会の目的は認定を取り消すことではなく、品質の高くない業者のレベルアップを目指すものであろう。業者同士の潰し合いではなく、互いを高めていくことが最終目的でなくてはならない。そのためには現地視察が重要である。
・物流改革について
・需給調査アンケートについて
・「みどりとふれあうフェスティバル(5/11・5/12 開催)」について
・平成 31 年度通常総会の進行について

第 2 回（7/11 中央区立環境情報センター）

・適合チップ認定制度について
・「適合チップ」とは、燃料として使用する上で支障のないもの、だ。そういう意味では、「達成度チェック表における【労災事故対策のレイアウト及び設備】と社会貢献活動の推進【コンプライアンス状況】」の配点が高いと感じる。この項目は基本中の基本だ。むしろ、【異物混入】や【作業手順書】、【工場及び設備の管理】の項目の配点を高くしなければならないと感じている。朝礼の挨拶等、日常業務の心得ももちろん大切なことではあるが、「適合チップ」を製造するにあたり、達成度チェック表の配点バランスを考える必要がある。
・現状、チップの品質低下によるボイラーの緊急停止が起きている。認定チップというからには、品質は高めていかなければならない。「ISO」の改訂版のように、「2020 年度版適合チップ認定制度」というものをこれまで以上に厳しい基準で検討していく必要があると考える。

・「2020 年度版適合チップ認定制度」における審査基準に到達できなければ適合認定は取り消しとなる、議論も必要ではないかと考える。「ISO」も改訂された時に、その基準に到達できていなければ取り消しとなる。
・現状、不定期に流れている需要者の注意喚起によると、破砕機を通っていない金属は磁選機があっても、ラインを通っていないため、取り除くのは不可能だ。つまり、スタートに立っていない箇所での問題、「達成度チェック表」上のチェック項目の前の部分で発生する問題がほとんどではないかと感じている。
・達成度チェック表の「原料(母材)搬入時の検品体制が確立している」が全てだと思う。
・点数結果の開示に関しては、協会が開示するのではなく、メーカー側が任意で開示するということではないだろうか。
・現地調査には母材置き場と製品置き場が近接している所も対象とする旨、委員相互で共有した。
・異物混入防止対策のための啓発ポスターを作成することを検討すべきだ。全ての協会員事業所の入り口に掲示することを徹底する。
・物流改革について(待機時間調査について)
・事務局より、国土交通省が告示している〔ドライバーの荷役作業や附帯業務「乗務記録」の記載義務化〕について説明があった。
・平成 31 年 1 月 15 日～2 月 14 日実施の待機時間調査集計結果について報告があった。
・事務局より、引き続き待機時間調査を実施、記録していくことについて説明があった。
・先進事例視察について
・先進事例視察候補地の株式会社横須賀バイオマスエナジーについて事務局より説明があった。
・全体会議について
・今年度は、12 月 12 日(木)に開催する旨、報告があった。
・全体会議の講演会内容について委員間で話し合った。物流の現状について、や、人材育成について、「働き方改革」について、などの案が挙がり、物流をテーマにすることとした。
・国への要望について

第 3 回（11/26　京橋プラザ区民館）

・適合チップ認定制度について
・中間報告について、報告期限を事務局提案の 1 月末日から 1 月中旬に前倒しして、回答内容を分析し、2020 年度版改定のための資料とすることを確認した。
・2020 年度改正版について、事務局提案を前倒しして、5 月乃至 6 月の総会を目途に策定することを確認した。
・その策定のため、企画財政委員会から選出した審査・検討会のメンバーにより、2 月以降に月一回程度の頻度で内容を検討することとした。
・国の要望について
・全国木材資源リサイクル協会連合会からの国の要望と令和元年 9 月 12 日の需給問題検討会での国の回答を並べた資料を提出し、次回の委員会で検討することとした。
・また、地区委員会等でも検討できるよう、資料提供することとした。

・災害対策の取組

・先の台風 15 号と台風 19 号に関して、環境省から木くず処理の窓口になってほしいとのメールと、関連して関東協会の取組について、事務局から報告があった。

・また、災害協定など、今後の方向について意見交換した。

・全体会議の内容について

・内容について事務局から報告があった。

・物流部会の乗務記録票について

・令和元年 11 月 20 日の物流部会の議論を受けて、関東協会作成の乗務記録票の運用について内容を説明し、地区委員会、全体会議でこの運用について周知することを確認した。

・この内容については、国土交通省自動車局にも確認した旨、事務局から説明があった。

・また、乗務記録票について、取引先のユーザー及び物流会員以外の物流会社にも啓発することを確認した。

4. 需要者部会

計 1 回開催(7/31)

<主な議題>

第 1 回（7/31 日本製紙グループ会議室）

・適合チップ認定制度について

・適合チップ認定制度に関する議論経過に関して、これまでの需要者部会における意見を 4 つの項目(Ⅰ．点数開示、Ⅱ．審査会と認定取り消しについて、Ⅲ．評価方法について、Ⅳ．現地調査について)別にまとめた資料の説明があった。

・適合チップ認定制度の運用に関連して、事務局から現地調査を実施する方向で検討している旨の報告があった。
対象事業所は、作業手順書の無い所、フルイの無い所、母材置き場と製品置き場が近接している所を予定している。

・2019 年度は認定を受けている企業の中でも、特に懸念がある会社は現地調査をしっかりやって確認する。それと並行して、2020 年度版の達成度チェック表も作り込んでいく。メーカーによってそれぞれ施設が異なるため、それに合わせて作っていかなければいけない。

・物流改革について

・国の働き方改革も含めた指導で、運賃と作業費はきちんと分けるという指導がある。協会として、「積み込み」に関する方向性を決めた方がよいと考えている。ベストは、生産者が自分たちで積むようにし、物流会社に異物混入に対するリスクを負わせないようにしたい。国としては、運搬費と作業費を分けていれば良いのだが、メーカーは自分で積むのか作業費を払うのか、選んでいただくことになるので、協会の推奨というような形で文書を出していく必要がある。

・令和元年 6 月 15 日から、ドライバーが荷役作業や附帯業務を行った場合、「乗務記録」の記載対象となる。これは荷役作業がドライバーの拘束時間に影響することを踏まえた措置である。
乗務記録は運送事業者に記録・保存（最低 1 年間）が義務付けられている。

・荷主との契約書に、実施した荷役作業等が全て明記されている場合は、荷役作業等に要した時間の合計が１時間以上となった場合が対象となる。契約書に明記されていない場合は、１時間以内も対象となる。記録内容について荷主が確認したか、あるいは確認が得られなかったかについても記録対象となる。
・荷待ちについては平成 29 年７月にすでに記載対象となり、今年１月に荷待ち時間の調査をした。ただし、１月は荷待ち時間が例年少ないため、実態を反映しているか疑問である。
・この改正にのっとり、荷役作業について物流会社が記録・保存を進めていくこととなる。
また今後、関東協会として、改めて荷待ち時間と荷役作業について、調査していくこととなるので、協力をお願いしたい。具体的な調査方法はさらに検討していく。
・木質チップの需給状況等について
・先進事例視察について
・全体会議について
・木質バイオマス需要調査について

5. 物流部会
計３回開催(6/21・8/21・11/20)
<主な議題>

第１回(6/21 株式会社グーン みなとオフィス 会議室)

・待機時間調査について
・資料「令和元年６月 15 日から、ドライバーが荷役作業や附帯業務を行った場合、当該作業は、「乗務記録」の記載対象となります。(国土交通省)」貨物自動車運送事業輸送安全規則の改正について話し合った。
・協会としても、待機時間調査を実施することについて話し合った。
・調査データは一年間とった方がいいので、データを取り続けて、３カ月集計などでやってみたらどうか。
・国土交通省の内容だと待機時間一時間以上が対象だが、できたら全部、待機時間 30 分でも書いてもらい、一時間を超えたらチェックをもらってくる、というかたちで協力してもらえると良い。
・事務局で、複写で作ってもらい、それを我々が買うかたちにする。
・この調査を開始するにあたり、地区委員会と需要者部会で調査の必要性を確認し、８月 21 日に物流部会を開催して、各社ドライバーに配布を開始する。調査は通年で続くが、集計は３カ月毎の周期でまとめていく。
・「物流の健全化」」に向けて
・事務局より、国土交通省の『トラック運送業における下請け・荷主適正取引推進ガイドライン』について紹介があった。
・異物混入防止チェックシートの活用について

第 2 回(8/21 中央区立環境情報センター)

・待機時間調査について

・「関東地区燃料チップ需給バランス予測(2019 年)」より、折れ線は「需要量」。工場の定修を反映している。一番需要量が安定しているのは、12 月と 3 月だ。待機時間調査集計は、12 月と 3 月が適しているのではないかと思う。

・「働き方改革」の流れの中で、これからは待機した時間分の料金をきちんと支払わなければならない。荷主側にもきちんと話ができるような体制にしなければならない。そのためには、これだけ「待っている」ということをきちんと主張できるような資料にまとめていかなければならない。そうでなければ、業界は良くならない。

・チップ車両の稼働状況調査について

・木質チップの流通が円滑に進むようチップ車両の稼働状況を把握し、木質チップメーカー及びユーザーに物流の現状を理解していただくため、調査を実施する旨、事務局より説明があった。

・全体会議(12 月 12 日)の講演テーマについて

・物流系のコンサルタント大手の日通総合研究所にアポイントメントを取ることで部会員間確認をした。

・物流会員拡充について

・10 月の理事会では、物流部会員を増やすために、メーカー会社から声を掛けていただけるようお願いする。

第 3 回(11/20 中央区立環境情報センター)

・荷待時間・荷役作業等記録票及び実態調査について

・待機時間が発生した場合、記録票を荷主工場に提出、押印をいただいた上で、物流会社は自社に保管するとともに、荷主工場にも渡す(記録票を置いてくる)ことを、関東協会のガイドラインとする、ことを部会内で確認した。

・調査の目的、内容、対象、方法、結果の活用及び公表について事務局より説明があった。調査結果は、国土交通省と厚生労働省に報告することを確認した。

・調査実施にあたっては、待機時間 30 分未満が全運行中のどれくらいの割合であるか集計するため、記録票は「全運行」を記録することを確認した。

・調査対象(ドライバー数)は、一社の全ドライバーのうちの 5 割くらい(の人数)で、前回調査時の対象ドライバー数を下回らない、なおかつ、自社の取引先がだいたい網羅できるように選出いただく旨を確認した。

・上記の件に関しては、12 月開催の全体会議及び各地区委員会の中で周知徹底をしていく。これと同時に、全会員に向けて、周知の文書を送付することを決定した。ユーザー会社向けの文書も作成する。

・個別に、運送会社と作業内容についての契約を結んでいるかについてチップメーカー向け調査(需給調査アンケート)内で質問項目とすることを確認した。

・契約書に関しては、リーガルチェックを経た上で、関東協会で、統一契約書を作成してはどうかという意見があった。
・契約が交わされていない中、労災事故が発生した場合の対応について労働基準監督署に、また、労働災害案件で起訴された場合、欠格要件に該当するかについて環境省に、問い合わせることも確認した。
・「適合チップ認定制度」達成度チェック表の中で、ドライバーではなく、工場側が積み込んでいるか否か(工場側で品質を管理できているか否か)を、品質向上の観点から、チェック項目の中に入れる点を確認した。

6. 発電利用バイオマス証明認定審査委員会

計 5 回開催(7/18 メール・9/4・9/25 メール・10/15・11/28 メール)
FIT 現地調査 5 件実施(7/10・9/20・10/4・11/5・11/11)

7. 懇親ゴルフ大会

計 1 回開催 〇次回、令和 2 年 3 月 4 日に開催予定
10 月 2 日…鎌ヶ谷カントリークラブ　　12 名参加

８.労働安全衛生の取組

北関東地区委員会の企業 1 社で 10 月に安全衛生診断を実施

平成 31 年度　地区委員会活動中間報告

(1)　南関東地区委員会

計 7 回開催　(4/22・5/20・6/17・7/22・8/28・9/30・10/28)

(2)　中関東地区委員会

計 7 回開催　(4/23・5/28・6/25・7/30・9/27・10/23・11/27)

(3)　北関東地区委員会

計 4 回開催　(5/23・7/25・9/19・11/28)

(1)　南関東地区委員会

・市況に関する情報交換を行った。
・木質チップの供給過、発生量について意見交換を行った。
・出荷先の定修やボイラー故障についての情報を共有した。
・適合チップ認定制度に伴う品質強化について、各社の取り組みを情報交換した。
・労災事例について情報共有した。

(2)　中関東地区委員会

・市況に関する情報交換を行った。
・「適合チップ認定制度」に関連して、各回各社担当制で、異物混入トラブル防止の取り組みに関して資料を作成し、発表した。発表後の質疑応答では、実務レベルでの率直な意見が出た。また、異物混入トラブル事例について情報共有を行い、異物混入防止に向けての更なる取り組みにつながるよう意見交換を行った。

(3)　北関東地区委員会

・最近の入出荷状況について情報交換した。
　※関連して、関東地区燃料チップ需給バランス予測について説明があった。
・重点課題について意見交換した。①適合チップ認定制度の厳格な運用、②物流の働き方改革、③適正処理のための条件、④人手不足対策
・貨物自動車運送事業輸送安全規則の改正について説明があった。
・国の要望に関連して、①分別可能な建設資材の開発等、②河道内樹木の取り扱いについて意見交換した。
・全国木材資源リサイクル協会連合会の大規模災害復興への取組について説明があった。
・台風 15 号による倒木等の受け入れ調査及び工場等の被災状況調査について意見交換した。

令和元年 12 月 12 日
全体会議

適合チップ認定制度の経過と今後の方向について

１．検討経過

（１）平成２８年４月…重点事業として「適切な供給体制構築のための品質評価の検討について」意見交換をしてスタート

企画財政委員会…２８年度６回　２９年度２回

需要者（ユーザー）部会…２８年度４回　２９年度２回

地区委員会…各２～３回

（２）平成２８年１１月理事会…適合チップ認定のためのガイドラインについて、基本となる内容を提示

（３）平成２９年１０月理事会…適合チップ認定のためのガイドラインについて、申請様式、達成度チェック表、認定書、共同宣言について、必要な内容を提示

（４）平成３０年１月…申請受付をスタート

（５）平成３０年４月…順次、認定書を発行（４８社）

基本期限＝平成 30 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

（６）平成３０年６月…共同宣言

（７）平成３０年 11 月…作業手順書策定プロジェクト

（８）平成３１年１月…全体会議でメーカーの品質向上の取り組みを発表

（９）平成３１年３月…木質チップ異物混入トラブル非常事態宣言

※協会内の自主規制や監視の強化、トラブル事案の多い事業者への罰則等を含めた認定制度そのものの見直しに積極的に取り組む

２．見直しの方向について

2020 年度改訂版作成	進捗状況報告の徹底及び評価項目の追加	その他
・選択制による再申請	・計画中や未実施の進捗状況の報告 ・具体的な異物混入防止の取り組み ・荷積み時の注意（物流会社との契約など）	・自主規制や監視の強化 ・罰則規定の創設 ・認定取り消し
・メーカーが再申請についてどう考えるか	・メーカーが品質向上に意欲的に取り組むことが出来るか	・上記の具体的な手法はあるか

・ユーザーが改訂版申請者を有利に取り扱い出来るか ・チェック表の配点変更だけではなく、何を評価に加えるか…配点変更ならば再申請の必要はなくなる ・メーカーが主体的に取り組める方法を探る	・ユーザーがこの動きで制度を評価できるか	

以上の 3 つの方向を検討し、まずは中間報告を取ることとし、令和元年 10 月 15 日の理事会で報告、了承。

その際、中間報告の依頼文について、「2020 年度改訂版作成の資料とする旨」明記するよう指示があった。

３．今後のスケジュール

中間報告

（１） 中間報告…令和元年 12 月初旬に認定事業者あてにメールで依頼し、来年 1 月中・下旬までに回答をもらう。→　中間報告の集計及び分析を速やかに実施

2020 年度改訂版の策定

（１）審査及び検討会の設置及び運営…速やかに設置し、来年 2 月に第 1 回会議。以後、月 1 回程度の頻度で内容検討

（２）企画財政委員会で必要に応じて内容検討

（３）令和 2 年度総会にて内容を報告

その他

（１）現場視察の実施…以下の条件を考慮し、今後の参考とする目的で必要に応じて実施

①視察対象基準　・作業手順書がない…6 事業所

・フルイがない……7 事業所

・両方がない……2 事業所

・母材置き場と製品置き場が近接…3～ 5 事業所

②ヒヤリングの内容

・適合制度を申請して品質向上について変化した点、

・作業手順書やフルイの代わりになる品質向上の対策、

・その後の設備等の進捗状況等

令和元年 12 月 2 日

適合チップ認定事業所　御中

関東木材資源リサイクル協会
会長　藤枝　慎治

適合チップ認定制度の中間報告について

関東木材資源リサイクル協会では、木質チップの品質向上と安定供給を目的に、平成 30 年 4 月から、適合チップ認定制度を開始しました。この制度は、「適合チップ認定のためのガイドライン」の達成度チェック表により、会員の皆様の自己申告に基づいて認定する制度です。制度は、申請時だけで完結する制度ではなく、運用面で継続的な見直し（PDCA サイクル）により、ガイドラインの徹底・充実を図ることとしています。

認定を開始してから、ガイドラインの徹底・充実を図るため、これまで作業手順書のひな型を策定して会員の皆様に送ったり、関東木材資源リサイクル協会の全体会議でメーカーの品質向上の取組を発表したり、異物混入トラブルの非常事態宣言を発令したり、協会として様々に取り組んできました。

しかし、必ずしも品質面で成果があがっているとは言えません。そこで、改めて、適合チップ認定事業所の皆様に、チェック表の中で特に異物混入に関連した重点項目（報告様式に記載）の具体的対応について、10 月 15 日の理事会で中間報告をいただくことに決定しました。併せて、認定事業所として、品質向上の面で改善した点や取引先の評価についても報告願います。

いま、木質チップの市況は厳しさを増しており、需給の安定にはこれまで以上に品質向上が求められております。適合チップ認定制度につきましては、今後、「2020 年度改訂版」の策定を計画しています。改訂版では、一層の品質向上を目的に、認定のための評価基準を厳しくする予定です。この報告も、検討の貴重な資料として活用します。

◎報　告　期　限　　令和 2 年 1 月 15 日

◎報告・問合せ先　　関東木材資源リサイクル協会事務局
※メールまたは FAX でお願いします。
TEL　03－6661－1529　FAX　03－6661－2069

◎添付資料　①報告書（エクセル）　②報告書記入例（ワード）

担当　関東木材資源リサイクル協会
専務理事　原　信男

適合チップ中間報告書記入例（平成 31 年度）

この報告は、特に異物混入対策として実施するものです。

報告日　令和　　年　　月　　日

会社名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

① 木質チップの製造ラインに即して、申請時のチェック項目の具体的対応について記入してください

異物混入防止の全般の取組

・毎朝、朝礼による注意喚起、　・文書による納入業者への注意喚起、

・台貫に異物混入写真ポスターを掲示し「異物禁止！」

１．原料搬入時の検品体制（異物の除去方法など）

・査定員の配置、　・製品チップに混入しないようヤードの間隔をあけて荷下ろし、

・1 台ずつの展開査定、　・異物混入の目視確認、　・監視カメラの設置、

・写真撮影し搬入者に注意、　・異物混入時の持ち帰り

２．破砕機投入時の異物除去の方法

・重機による展開検査と金属類除去、　・投入木材に混入している異物を鳶口等で取り除く（コンベア停止)、　・異常音・異常振動のチェック、　・詰まり・過負荷の常時監視

３．設備の管理

①フルイ

・フルイの無い事業所

（その後の設置の動きと、無い場合のサイズ適正化の具体的取組）

・行政との調整中、　・設置費用の見積もりをお願いしている

・製品サイズの常時チェックと再投入の実施

・フルイの有る事業所

（フルイの管理方法…サイズ拡大等の点検頻度など）

・始業時・終業時のスクリーン孔の亀裂確認、　・ダスト用スクリーン孔の目詰まり確認

② 磁選機

・磁選機の無い事業所

（その後の設置の動きと、無い場合の鉄除去の具体的取組）

・行政との調整中、　・設置費用の見積もりをお願いしている

・荷下ろし・破砕機投入時における金属類の人力による除去

・磁選機の有る事業所

（磁選機の管理方法…磁力等の点検頻度など）

・始業時・終業時の磁力確認、　・磁力低下の随時点検と修理

③ 設備全体

（設備の欠損、脱落等の点検方法）

・作業終了時に設備全体の確認と日報による報告

４．工場の管理

① 土場の整備（舗装等の現況について）

・未舗装のため砂利等の混入防止のため鉄板等を敷いて対応

② 原料ヤードと製品ヤードの間仕切り等の区分（現況と異物混入の管理体制…巡回点検など）

・原料と製品が混入しないように混入防止柵を設置、　・常時巡回点検を実施

５．製品チップ積み込み・搬出時の確認

① 誰が積み込むか（運転手か工場側か）

・工場側が積み込み

② ローダー（点検…バケットの確認方法、製品チップ積み込み専用ローダーか否か）

・使用前にバケットを目視確認、　・専用ローダー以外は使用しない

③ 運搬車両(積み込み前の荷台の確認方法)

・出荷時チェックリストの活用、　・荷台の補助具混入の目視確認と写真撮影、

・車両全般の脱落物等の目視点検

② 作業手順書の策定状況と徹底について記入してください

1．作業手順書 ・作業手順書の無い事業所 （その後の策定の動きと、無い場合の品質向上の具体的取組） ・作業手順書見本を参考に策定中、　・策定したいがどのようにするかわからない ・作業手順書の有る事業所 （社員教育等による徹底方法など） ・朝礼と定例会議で確認、　・管理責任者による OJT を実施

③ 適合チップ制度の認定後、品質向上面で改善した点や取引先の評価などを記入してください

令和元年 12 月 12 日
関東協会全体会議

関東木材資源リサイクル協会―災害対策の取組

１．環境省が送った 10 都県災害廃棄物担当者へのメール

10 都県災害廃棄物担当者様
環境省現地支援チーム　各位
関東事務所　各位

お世話になっております。
関東地方環境事務所の保角です。

環境省本省より情報提供です。
処理にお困りの市町がございましたら連絡先を提供いただき、直接調整いただきますようお願いいたします。
++++++++++++++++++++++++++++++++++
D-waste メンバーではありませんが、木くず（枝葉のようなものも含む）の処理先を確保する手段の一つとして「全国木材資源リサイクル協会連合会」が窓口となってくれることとなりました。木くずは一度に大量に発生することから、施設側の保管ヤードが逼迫し搬出が滞ることが多いですが、全木リ連さんのお話だと受入可能量を含めたうえで調整してくれるとのことでしたので、処理先確保にお困りの市町村や県に情報をご提供いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

全国木材資源リサイクル協会
窓口担当者：専務理事　原　信男
TEL:03-6661-1529
FAX:03-6661-2069
E-mail:n-hara@woodrecycle.gr.jp10 都県災害廃棄物担当者様
環境省現地支援チーム　各位
関東事務所　各位

２．千葉県災害被災木処理チーム

ー関東木材資源リサイクル協会ー

以下、3 地区委員会の受け入れ可能会社を列挙するが、千葉県の対応は
主として中関東地区委員会とする
なお、南関東地区委員会、北関東地区委員会は各社の実情に応じて、
関係自治体と協議する
（要請自治体への条件）
①一般廃棄物処理施設の許可がない場合は、速やかに災害廃棄物処理の特例制度
（法 15 条の 2 の 5 の第 2 項）を適用すること
②事前協議が必要な場合は、速やかに対応すること

チームリーダー

市川燃料チップ㈱	千葉県市川市

チームメンバー	処理工場所在地	月間処理可能量（t）
中関東地区委員会		約 1,000
木材開発㈱	千葉県市川市	
フルハシ EPO㈱	千葉県千葉市	
	千葉県松戸市	
㈱チップ興業	千葉県千葉市	
㈱石井興業	千葉県山武郡	
㈱エコグリーン	千葉県匝瑳市	
東関リサイクル㈱	千葉県八街市	
㈱タケエイ	千葉県四街道市	
シナネンエコワーク㈱	千葉県千葉市	
	埼玉県白岡市	
㈱共同土木	千葉県千葉市	
	東京都江東区	
㈱後藤造園	東京都足立区	
東武環境センター㈱	埼玉県八潮市	
㈱クワバラ・パンぷキン	埼玉県加須市	
東京ボード工業㈱	埼玉県八潮市	

	東京都江東区	
木村建材工業㈱	埼玉県川越市	

南関東地区委員会		約 8,000
㈱グーン	神奈川県横浜市	
横浜エコロジー㈱	神奈川県横浜市	
木材開発㈱	神奈川県川崎市	
㈱光洲産業	神奈川県川崎市	
フルハシ EPO㈱	神奈川県平塚市	
エコテクノ㈱	神奈川県相模原市	
㈱タケエイ	神奈川県川崎市	
㈱エコネット	東京都八王子市	
㈱エコグリーン	東京都八王子市	
㈱グリーンハーモニー	東京都清瀬市	
㈲峡南環境サービス	山梨県南アルプス市	
㈱タケエイグリーンリサイクル	山梨県富士吉田市	

北関東地区委員会		約 2,000
亀井産業㈱	埼玉県熊谷市	
㈱ヤマゲン	茨城県つくば市	
勝田環境㈱	茨城県ひたちなか市	
㈱清水インダストリー	群馬県高崎市	
㈱リ・フォレスト	群馬県沼田市	
㈱グリーンマテリアル	群馬県邑楽郡	
遠野興産とちぎ㈱	栃木県那須塩原市	
泉工業㈱	栃木県佐野市	

事務局：関東木材資源リサイクル協会

担当：専務理事　原　信男

令和元年 12 月 12 日

関東木材資源リサイクル協会会員各位

関東木材資源リサイクル協会
会長　　藤枝　慎治

物流業者の乗務記録票（荷待時間・荷役作業等）の運用について
ご理解とご協力をお願いします

現在、物流業界では、荷主との契約事項の不透明さから、トラックドライバーの長時間労働や荷役作業等の負荷が課題となり、ドライバー不足等の深刻な問題が発生しています。

この解決のため、国では「貨物自動車運送事業輸送安全規則」を改正し、トラックドライバーの乗務記録に次の内容を記載することを義務付けました。

（１）貨物自動車運送事業輸送安全規則の改正内容

①平成 29 年 7 月 1 日施行

・荷主都合による 30 分以上の待機について、乗務記録の記載対象に追加

②令和元年 6 月 15 日施行

・荷役作業や附帯業務を行った場合、当該作業が荷主との契約書に明記されている場合は当該作業時間の合計が 1 時間以上となった場合、乗務記録の記載対象に追加。

・上記作業が契約書に明記されていない場合は、作業時間が 1 時間以内も乗務記録の記載対象に追加。

注意１：これらの乗務記録については、荷主が確認したか、あるいは荷主の確認が得られなかったかについても記載対象となります。

注意２：この乗務記録は、物流事業者に記録・保存が義務付けられているものですが、長時間労働を生じさせている荷主に、国が勧告等を行うにあたっての判断材料となります。

（２）関東木材資源リサイクル協会の取組…共通様式の活用

◎この改正を受けて、関東木材資源リサイクル協会では、共通様式の「荷待時間・荷役作業等記録票」を作成しました。これは、同じ様式を用いることで全会員が共通の認識に立ち、協力して物流業界の課題解決に取り組むためです。共通伝票の記載内容は国土交通省による乗務記録義務付けに対応するものです。

◎今後、物流部会員は、国の指導に従い、チップメーカーとチップユーザーの皆様に、この記録票を令和 2 年 1 月から運用してまいります。

◎物流部会員以外でも取引先の物流会社に共通伝票の活用を啓発願います。

◎記録票（後ろに様式見本）は 2 枚つづりであり、荷主の確認欄を設けています。また、1 枚目は荷主の皆様にお渡しし、2 枚目は物流業者が保存します。

チップメーカー及びチップユーザーの皆様には、この取り組みをご理解いただき、木質リサイクル安定のため、物流業界の健全化にご協力をお願いします。

この取り組みに関して国土交通省自動車局に報告したところ、高い評価をいただいています。

問合せ　関東木材資源リサイクル協会事務局　原・飯尾　03-6661-1529

関東木材資源リサイクル協会作成　チップ車用「荷待時間・荷役作業等記録票」(2 枚複写)

荷待時間・荷役作業等記録票（荷主・お客様用）

荷主(お客)様名:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様　地点(工場)名等:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日付	到着時刻	到着時間の指定時刻
年　月　日	時　分	時　分 ～　時　分

荷待待機		□ 積込み	□ 荷下ろし (□土場への下ろし)	積込み又は荷下ろし以外の作業 (ドライバーが実施した作業のみ)	
開始時刻 Ⓐ	終了時刻 Ⓑ	開始時刻 Ⓒ	終了時刻 Ⓓ	開始時刻 Ⓔ	終了時刻 Ⓕ
時　分	時　分	時　分	時　分	時　分	時　分
待機理由: □ 混雑・順番待ち □ 材・チップ切れ □ 工場機械故障 □ その他 (　　)	荷待時間 Ⓑ−Ⓐ 分	作業者: □ 荷主(お客)様 □ ドライバー	積込み又は荷下ろし時間 Ⓓ−Ⓒ 分	内容: □ 検収・検品 □ 横待ち □ その他 (　　)	積込み又は荷下ろし以外の作業時間 Ⓕ−Ⓔ 分

荷主(お客)様確認欄	
印か署名をいただく	□ 荷主(お客)様側の確認が得られなかった □ 荷主(お客)様側担当者が不在だった

出発時刻	時　分

運搬会社:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

車両番号:＿＿＿＿＿＿＿＿　ドライバー:＿＿＿＿＿＿＿＿

関東木材資源リサイクル協会作成チップ車共通書式(国土交通省による乗務記録義務付け項目対応)第2版

荷待時間・荷役作業等記録票（運搬会社用）

荷主(お客)様名:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　地点(工場)名等:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日付	到着時刻	到着時間の指定時刻
年　月　日	時　分	時　分 ～　時　分

荷待待機		□ 積込み	□ 荷下ろし (□土場への下ろし)	積込み又は荷下ろし以外の作業 (ドライバーが実施した作業のみ)	
開始時刻 Ⓐ	終了時刻 Ⓑ	開始時刻 Ⓒ	終了時刻 Ⓓ	開始時刻 Ⓔ	終了時刻 Ⓕ
時　分	時　分	時　分	時　分	時　分	時　分
待機理由: □ 混雑・順番待ち □ 材・チップ切れ □ 工場機械故障 □ その他 (　　)	荷待時間 Ⓑ−Ⓐ 分	作業者: □ 荷主(お客)様 □ ドライバー	積込み又は荷下ろし時間 Ⓓ−Ⓒ 分	内容: □ 検収・検品 □ 横待ち □ その他 (　　)	積込み又は荷下ろし以外の作業時間 Ⓕ−Ⓔ 分

荷主(お客)様確認欄	
印か署名をいただく	□ 荷主(お客)様側の確認が得られなかった □ 荷主(お客)様側担当者が不在だった

出発時刻	時　分

運搬会社:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

車両番号:＿＿＿＿＿＿＿＿　ドライバー:＿＿＿＿＿＿＿＿

関東木材資源リサイクル協会作成チップ車共通書式(国土交通省による乗務記録義務付け項目対応)第2版

先進事例視察報告書

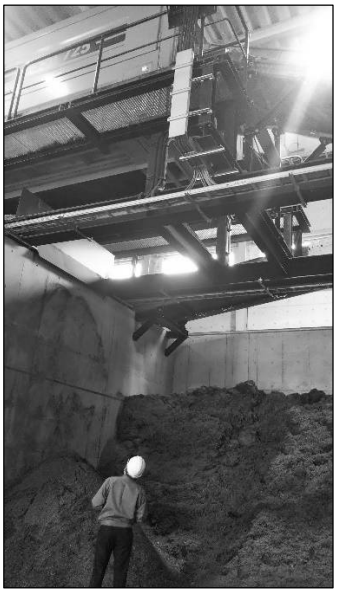
日　程；令和元年 11 月 5 日（火）
所在地；神奈川県横須賀市浦郷町
設　立；2016 年(平成 28 年)4 月

視 察 先；株式会社横須賀バイオマスエナジー
代 表 者；代表取締役社長　　安倍　誠
事業内容；バイオマス発電事業
参加者数；38 名

＜発電施設　概要＞
発電出力；6,950kW
燃料使用量；燃料チップ約 91,000t/年
燃焼方式；流動層方式
ボイラー稼働日数；333 日/年

＜中間処理施設　概要＞
処理品目；木くず(剪定枝・丸太・根株 等)
処理能力；破砕　最大 75,950t/年
破砕機稼働日；250 日/年

剪定枝や丸太・根株などがショベルカーで破砕機に投入されていた。



燃料チップ投入口の底がスライドデッキのようになっていて、木質チップが流れていくところ。

スクーンにより砂が排出される。

横須賀市をはじめとする首都圏近郊の自治体・造園業・建設業等から排出される伐採木、剪定枝ならびに森林間伐材、建設現場などから出る木くずといった木質資源を主な燃料とする「都市型」バイオマス発電事業を行い、化石燃料に依らない再生可能エネルギーをつくる。建設・解体現場で発生する廃棄物に含まれる廃プラスチック類から製造した固形燃料「RPF」を助燃材として使用する予定。発電した電気は、小売電気事業者を通じて地元の公共施設や企業、生活協同組合施設などに供給する計画。

引用参考；横須賀バイオマスエナジーHP「横須賀バイオマス発電所竣工のお知らせ『1.発電事業の概要』」

関東木材資源リサイクル協会予算執行状況
平成31（2019）年4月1日～令和元（2019）年11月30日

収入

科目	予算	現在の収入	差額
会費	8,400,000	8,480,000	80,000
入会金	230,000	330,000	100,000
共販事業収益	30,000	7,950	-22,050
物流関係事業	0	81,312	81,312
前期繰越	10,037,029	10,037,029	0
合計	18,697,029	18,936,291	239,262

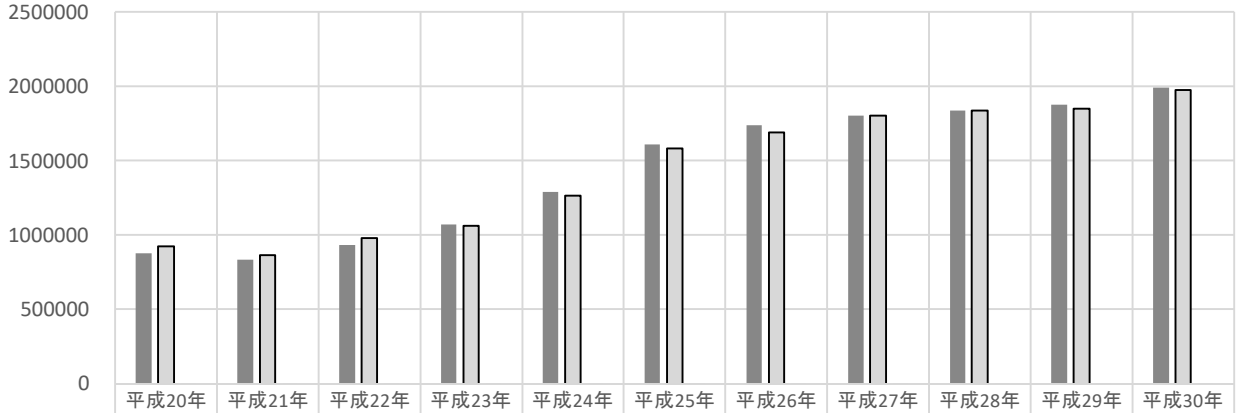
支出

科目	予算	現在の支出	残額	支出率
会費	1,479,000	1,479,000	0	100.0%
事務所賃借料	874,000	437,486	436,514	50.1%
人件費	3,700,000	1,761,900	1,938,100	47.6%
福利厚生費	372,000	111,287	260,713	29.9%
会議費	518,000	105,578	412,422	20.4%
備品購入費	300,000	177,120	122,880	59.0%
慶弔費	120,000	25,100	94,900	20.9%
通勤費	300,000	116,409	183,591	38.8%
旅費交通費	336,000	28,601	307,399	8.5%
図書印刷費	310,000	499,870	-189,870	161.2%
調査費	1,165,000	104,280	1,060,720	9.0%
業務委託費	1,000,000	0	1,000,000	0.0%
広告宣伝費	500,000	0	500,000	0.0%
通信費	200,000	116,141	83,859	58.1%
事務用品費	300,000	38,154	261,846	12.7%
災害援助費	100,000	0	100,000	0.0%
雑費	200,000	167,032	32,968	83.5%
連合会寄付金	300,000	0	300,000	0.0%
予備費	6,623,029	0	6,623,029	0.0%
合計	18,697,029	5,167,958	13,529,071	27.6%

最近の木質チップの需給状況

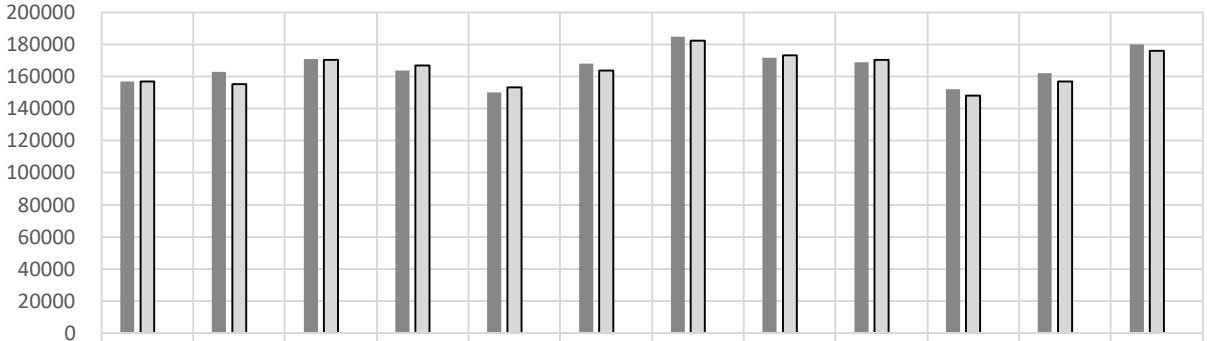
関東木材資源リサイクル協会

H20～H30年度入出荷実績表（単位:トン）



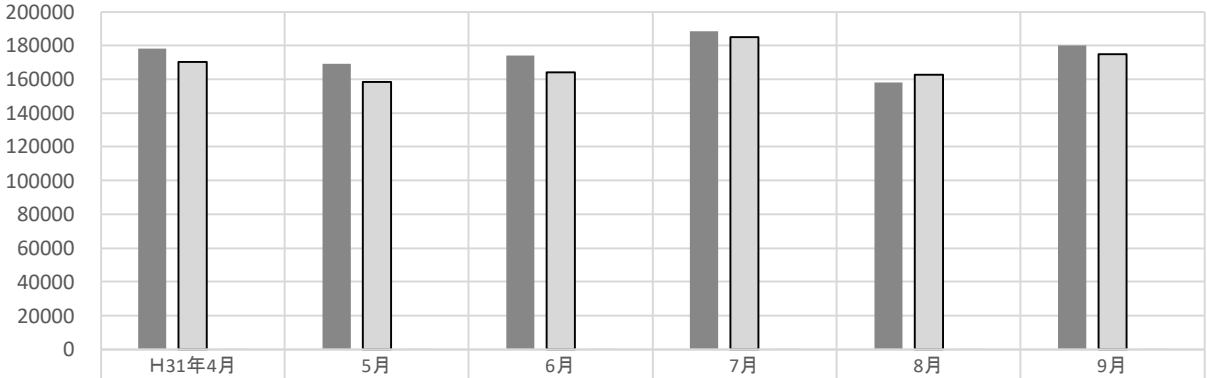
	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
入荷量	874249	831414	931281	1069014	1290225	1606229	1738429	1799539	1836220	1875311	1991477
出荷量	920771	864511	977491	1058446	1264226	1580691	1688296	1800235	1835039	1849326	1972541
企業数	22	22	23	27	36	45	53	54	52	52	55

H30年度入出荷実績表



	H30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H31年1月	2月	3月
入荷量	156609	162693	170697	163562	150206	168064	184822	171607	168769	152205	162121	180121
出荷量	156695	155191	170245	166608	153226	163650	182440	173232	170274	148070	156813	176097
回答社数	53	54	54	54	54	54	55	55	55	55	55	55

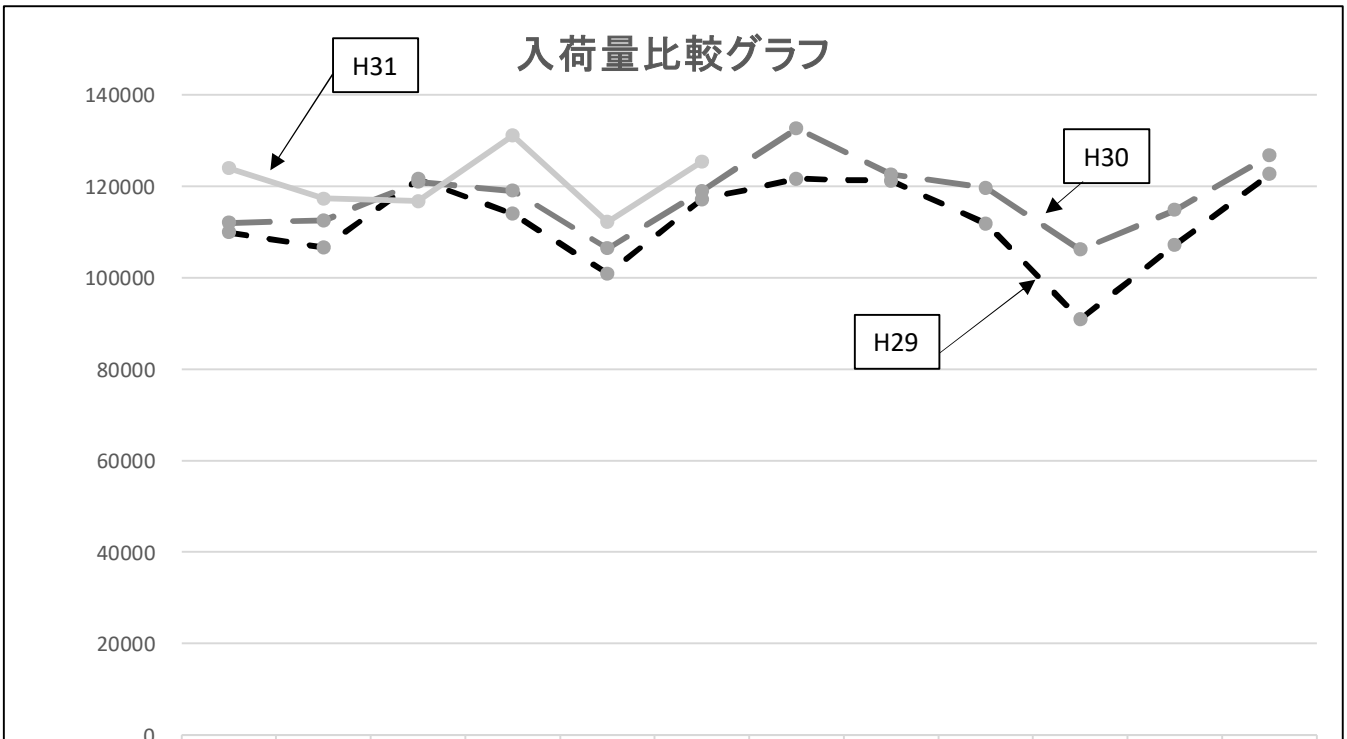
H31年度入出荷実績表



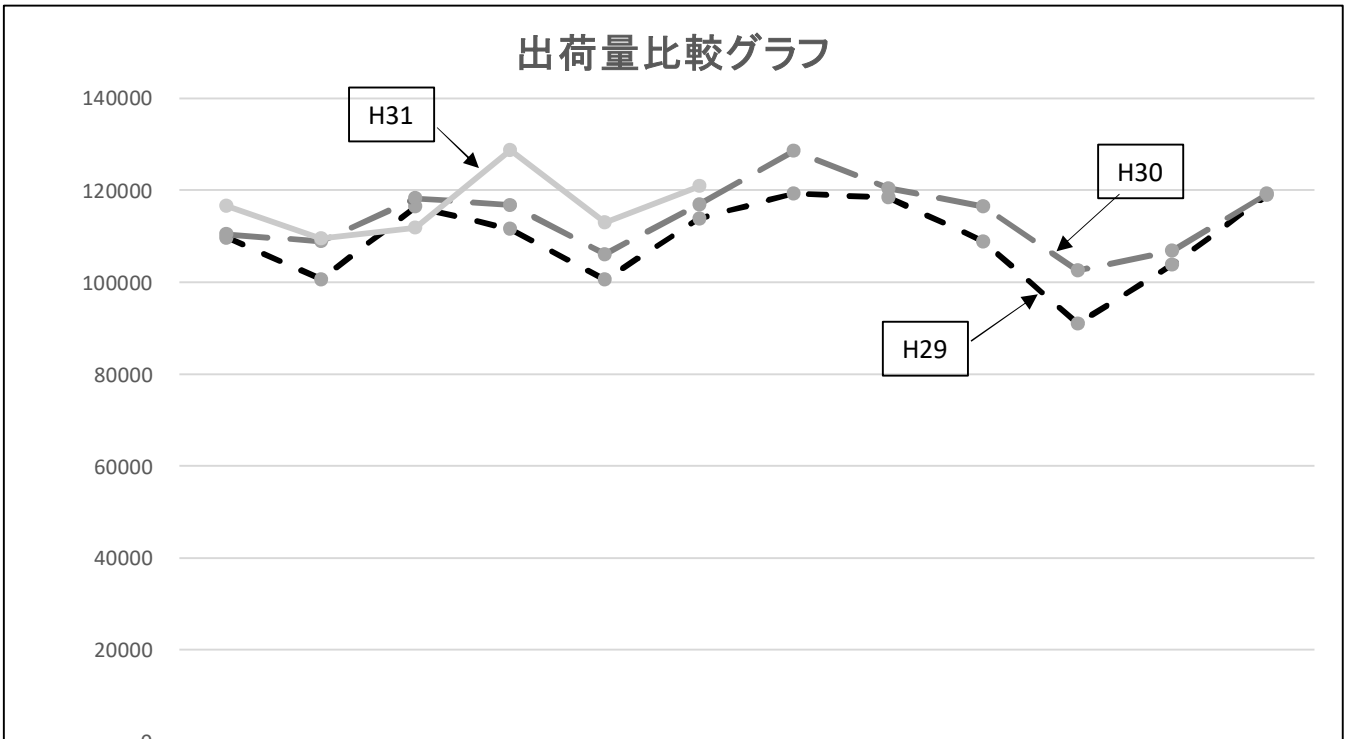
	H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月
入荷量	178173	169074	174018	188600	158094	180315
出荷量	170410	158587	164132	185069	162867	174765
回答社数	57	57	57	57	57	57

木質チップ入出荷量の同数比較

※年度途中の入会・退会をのぞいた同数（33社）で比較　　関東木材資源リサイクル協会



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H29	109966	106638	121568	113983	100909	117153	121652	121228	111808	90950	107180	122641
H30	112055	112551	121023	119043	106419	118983	132696	122601	119667	106134	114840	126747
H31	123926	117261	116704	131047	112157	125415						



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H29	109709	100629	116423	111614	100620	113893	119325	118378	108878	90999	103853	119002
H30	110446	108958	118230	116793	106069	116949	128553	120425	116481	102544	106876	119248
H31	116605	109459	111904	128757	113017	120940						